

令和 7 年度 2 学期終業式 校長講話

こんにちは。校長の石丸です。
インフルエンザの流行により、1 年生 6 クラスが不在で少し寂しい終業式になりました。皆さん、体調はいかがですか？

2 学期は、一年間の中で最も登校日数が多く、気候的には、暑さと寒さに挟まれており、心身の疲労がたまりやすい期間です。特に今年は、観測史上最も暑い夏と言われ、残暑が長く続きました。加えて、日頃の学習、部活動、そして文化祭、海外修学旅行、防災訓練等の学校行事、3 年生にとっては進路実現に向けての準備など、忙しく過ごした毎日だったと思います。これから受験本番を迎える人も多数いるかとは思いますが、まずはここまで乗り切った自分を、どうぞ褒めてあげてください。

年末年始には、少しまとまった時間が取れると思いますので、自分のやりたいことに時間を使うなど、リフレッシュしていただければと思います。

さて 2 学期間、お疲れ様でした。

文化祭では、3 年生の演劇、1・2 年生は飲食や縁日・ゲームなどの企画物、そして部活動発表、ボディビル大会、各クラスのオリジナル動画など多くの出し物が提供されました。クリエイティブでチャレンジ精神に満ちた数々の企画は、来場者に本校の魅力を伝えるには十分だったと感じています。

3 年生の演劇は、アクの強いキャラクターが活躍するアトラクション系をはじめ、ラブコメディ、学園系、ファンタジー系などバラエティに富んでいました。独創性に満ちた芝居は、多くの聴衆を楽しませると共に、ホスピタリティ溢れるものであったと感じています。不条理文学カフカの「変身」を演じたクラスもありました。大衆の価値観に迎合することなく、哲学的に・芸術的に、そして勇猛果敢にアプローチするこの挑戦は、次代の演劇発表に一石を投じるものとなったこと間違いありません。

芝居は、役者の心情や場面設定、ストーリーの流れを理解し、役者になり切って演じなければなりません。そこには「他人を演じる」という高い表現力が求められます。「他人を演じる」と口では簡単に言えますが、皆さんの年頃になると理性と羞恥心が邪魔をして、なかなか他人になれないものです。更に高いレベルになると、「他人を演じる」のではなく、「そのキャラクターは自分自身である」というレベルにまで昇華しなくてはなりません。そこに芝居の難しさ、面白さがあるのではないのでしょうか。また芝居は、音響、大道具、小道具、誘導、受付等、多くの係が必要となります。芝居の成功は、役者の演技力だけではなく、様々な係が関わることによってもたらされるものだと思えます。これは、将来、会社で働くときも同じです。会社には様々な部署があり、一つの目標を達成するために、各部署が協力して業務を遂行していきます。このことは、芝居のしくみとよく似ていますよね。皆さんは、芝居を通して小さな社会経験をしているのかもしれないですね。

さて、52 期生の皆さん、素敵な演劇発表をありがとうございました。皆さんが残した軌跡は、53 期生が引継ぎます。後はどうぞ安心していてください。

2 年生の海外修学旅行は、国際交流を推進する本校の取組の一環として実施されました。海外への渡航は初めてという生徒も多くいたことでしょう。パスポートの取得から羽田空港での集合、探究の時間を有効活用した事前学習など、もれなく準備をしてまいりました。

台湾での生活は、いかがでしたか？ 建物にベランダがなかったり、漢字は知っていても意味が理解できなかったり、台湾独特の味付けで食が進まなかったり、トイレの作法が

日本と違っていたり、そもそも言葉が通じなかったりと、皆さんにとって、慣れないことが多く、新鮮かつ大変だったと推察します。

学校間交流では、桃園市立陽明高級中等学校を訪ねました。どこのクラスも地元の高校生と英語や簡単な中国語で会話をし、楽しそうに交流していました。また記念式典では、日本では考えられないほどのおもてなしを受けました。本校からの出し物は、縄跳びでしたが、舞台上で日台合同での縄跳びに、会場から大歓声が起こり盛り上がりました。大学生との台北市内の散策では、ツアー終了の集合場所である芸術センターで、別れを名残惜しそうにしているグループが数多く見受けられました。

海外修学旅行は、慣れない生活習慣や異なる言葉・風習がある中にも、現地の人たちとの心のつながりを感じることができる貴重な経験だと思います。この経験を通し、英語の学習に力をいれよう、あるいは中国語をやってみようと考えた人もいるのではないのでしょうか。

現在、日本を含め世界各国の企業が自国内外に多くの拠点を持っています。例えば日本企業の国外拠点数は 34,000 拠点、逆に日本国内の外資系企業は 7,500 社あると言われています。また人の出入国数は、出国する日本人は 1,400 万人、訪日外国人数は 4,000 万人を超えとも言われています。元アメリカ大統領のビル・クリントンが、「グローバル化は選択ではなく、現実だ」と言ったように、皆さんは、もはやグローバル社会を逃れられません。自分はグローバル社会の一員である、というこの事実と、皆さんはどう対峙していくのか、台湾訪問を機に考えてみてはいかがでしょうか。

1 年生においては、西東京消防署、西東京市総務部危機管理課の方をお招きし、防災訓練を行いました。訓練では AED を使用した救護体験、放水による消火訓練、段ボールベッド、簡易トイレを利用した避難所体験、防災講話を実施しました。指導いただいた先生方からは、「一生懸命アクティブに取り組んでおり、大変充実した訓練であった」と高い評価をいただいています。

すでにご存じのように、日本は 4 つのプレートの境界に立地しているため、しばしば巨大地震が発生します。皆さんの記憶にあるかどうか分かりませんが、東日本大震災は東北地方をはじめ、日本各地に甚大な被害をもたらしました。地震による火災、津波による住居の崩壊、電気・水道・ガスの供給停止、交通網の混乱、長期にわたる避難所での生活など、大地震は、これまでの平穏な暮らしを破壊してしまいます。こうした街を破壊するほどの大きな地震は、東日本大震災のみならず、能登半島沖地震や熊本地震、阪神淡路大震災など、数十年に一度のペースで発生しています。いざという時に備えて、防災に関する知識とスキルをもっておくことは、私達日本人にとって、とても大切なことだと思います。

一年生の皆さん、防災訓練での経験を、いざという時のために記憶の片隅に入れておいてください。そして、いざという時には、自分の身の安全を第一としながらも、高校生として家族、地域社会に貢献できる対応をお願いします。

明日から冬休み。勉強や部活動で忙しい人もいますが、冒頭でもお話ししました通り、長期休業期間はまとまった時間がとりやすいと思います。ぜひ、与えられた時間を有意義に使ってください。

これから受験を迎える 3 年生の皆さん、共通テストまで後 23 日。いよいよ直前のラストスパートですね。更なる実力アップに加え、健康への気遣いも忘れないでください。皆さんの努力が実を結ぶよう、心からお祈りしています。

それでは皆さん、よいお年をお迎えくださいませ。